

研究報告

——映画館をはじめとする芸術文化
に係る意識と需要の調査——

島根県立大学総合政策学部

高橋智佳



内容

1. 研究の概要
2. 研究の結果と考察
3. 今後の展望

1. 研究の概要

目的

- ・ 常設映画館の無い浜田市において「映画館」に対してどのような意識を有しているのかを確認し、浜田市に住む皆さんの日頃の芸術文化に関する考えについて明らかにするため

研究の方法

- ・ アンケート：県立大学生、浜田市に住む皆さんにアンケートを実施 (Googleフォーム, 紙媒体を用いる)

【映画館】に関する意識調査のお願い

アンケートを手にとっていただきありがとうございます！

島根県立大学総合政策学部4年の高橋智佳(たかはしともか)と申します。

私は現在浜田市の研究助成を受けて、浜田市における「映画館」に関する意識の調査を行っています。そこで、浜田市に住む皆さんにアンケートをお願いしたいと考えております。



QRコードを読み取っていただき、アンケートにご回答いただければ幸いです。

何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします！
お問い合わせ:島根県立大学総合政策学部 高橋智佳
(携帯)080-1511-422

(メール)e5018121@u-shimane.ac.jp

*アンケートは2021年12月20日まで回答を受け付けさせていただきます

研究方法

- ・ **インタビュー**：浜田市の映画上映に関わっておられる方、他市・他県のミニシアターの支配人、浜田市に住む皆さん

- ・ **実地調査**：高知県、広島県、岡山県、京都府、大阪府、東京都のミニシアターに赴く

- ・ **訪問箇所**：石央文化ホール、益田市“Shimane Cinema Onozawa”、映画監督、あたご劇場、尾道シネマ、



あたご劇場

シネマ尾道





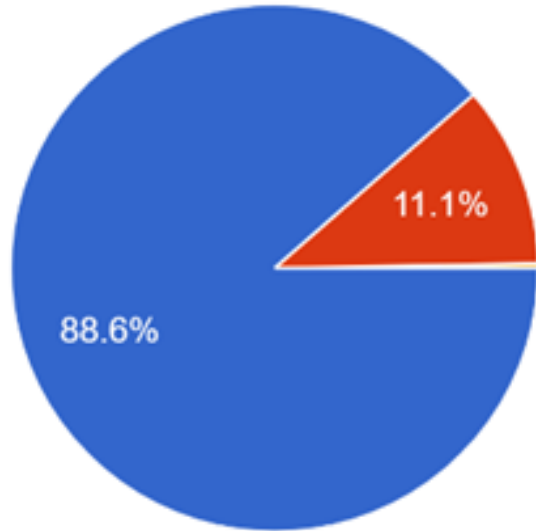
イベント



2. 研究の結果と考察

- ・インタビュー調査の結果

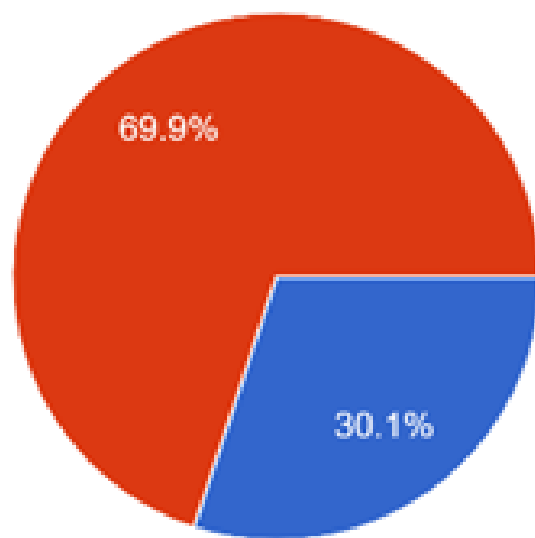
【浜田市に映画館があれば良いと思う】



はい—88.6%

いいえ—11.1%

【コミュニティシネマの運営に関わりたいか】

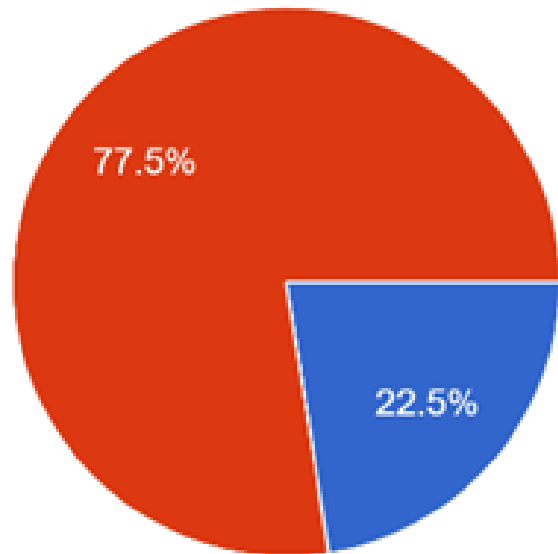


● はい
● いいえ

はい—30.1%

いいえ—69.9%

【浜田市の芸術・文化施設に対する意識】



● はい
● いいえ

はい—22.5%
いいえ—77.5%



接点の持ち方、情報を得る方法が分からない

インタビューの分析と考察

- ・映画館にとどまらず「娯楽施設が増えることに」対する期待は、極めて高い結果
- ・大学生のいるまち」としての経済効果、映画館を初めとしたシンボリックな地域振興のきっかけとなるものの可能性に対する市民の皆さんの関心は非常に高い

・「映画館があること」に肯定的であることは家にとどまらず「外に」文化を享受する環境を求めていると考察

・「自分には関係が無い」といった意見は「浜田市に長くいない」、「浜田市を離れることが分かっている」大学生に顕著

・「映画館があればよい」と考える人であっても「当事者意識」を持ってそこに実際に関わるか否かへの関連は、非常に低い

・「映画館」にとどまらず「何か」で貢献・携わりたいと思う学生がみられる

→「何か」を実現できるのか身を置きながら
考察できる場所・環境の必要性



シネマの調査

- オリジナルカラー
- シンボルの役割
- 「自分の街で自分以外の人と映画をみる」習慣・文化醸成の難しさ

上映会の効果

- ・ 上映会実施後【上映会のように他者と集まって外で映画を観る】集まりへの参加意欲があがる→[参加者全員に共通]
- ・ 世代を超えたつながりを求める
→[シネマローグ]の開催からわかる
- ・ [映画館に行くこと]以外の楽しさをまちの中に見つける

3. 今後の展望

- ・映画館を新しくつくることの難しさを知る

→しかし需要は高い

→上映会の定期開催

[浜田市]の映画に携わる人の関係性を継続できる場所

「地域に」目を向ける「語り合う場所」

**→上映会、ミニシアターがその役割を担
うことができる**

**→学生の[自己実現]を手伝うプラット
ホーム**

ご清聴ありがとうございました
